定量法　本品約20mg及び１，４－ＢＴＭＳＢ－d_4約４mgをそれぞれ精密に量り，重水素化アセトニトリル２mlを加えて溶かす。この液を外径５mmのＮＭＲ試料管に入れ，密閉し，次の測定条件でプロトン共鳴周波数400MHz以上の装置を用いて^{1}Ｈ　ＮＭＲスペクトルを測定する。

測定条件

スピニング　オフ

^{13}Ｃ核デカップリング　あり

取り込み時間　４秒以上

観測スペクトル幅　－５～15ppmを含む20ppm以上

パルス角　90°

繰り返しパルス待ち時間　64秒以上

ダミースキャン　１回以上

積算回数　８回以上

１，４－ＢＴＭＳＢ－d_4のシグナルをδ0.23ppmとし，δ3.40～3.80ppm，δ6.43ppm及びδ8.28ppm付近のシグナル面積強度をそれぞれA_1（水素数６に相当），A_2（水素数１に相当）及びA_3（水素数１に相当）とするとき，(A_1／６）／A_2，(A_1／６）／A_3及びA_2／A_3がそれぞれ1.0となることを確認する。１，４－ＢＴＭＳＢ－d_4のシグナル面積強度を18.00としたときのA_1，A_2及びA_3の和をＩとし，水素数の和をＮ，１，４－ＢＴＭＳＢ－d_4の純度をＰ（%）とし，次式によりアゾキシストロビンの含量を求める。ただし，本品由来のシグナルに明らかな夾雑物のシグナルが重なる場合には，そのシグナルの面積強度及び水素数は定量に用いない。

アゾキシストロビン（$C_{22}H_{17}N_3O_5$）の含量

$$=\frac{\text{１，４－ＢＴＭＳＢ－}d_4\text{の採取量（mg）}\times\text{Ｉ}\times\text{Ｐ}}{\text{試料の採取量（mg）}\times\text{Ｎ}}\times1.781\ (\%)$$

第２のＣの１のふ酸ナトリウム（標準試薬）の目の次に次のよう目を加える。

重水素化アセトニトリル　CD_3CN　ＮＭＲスペクトル測定用に製造したもの。

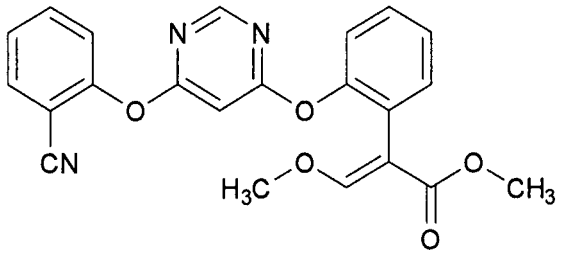
第２のＣの１の定量用Ｌ－アスコルビン酸２－グルコシドの次に次のよう目を加える。

定量用アゾキシストロビン　アゾキシストロビン，定量用を見よ。

第２のＤのアセトンの目の次に次のよう目を加える。

アゾキシストロビン

Azoxystrobin



$C_{22}H_{17}N_3O_5$　　分子量　403.39

Methyl（*E*）－２－｛２－［６－（２－cyanophenoxy）pyrimidin－４－yloxy］phenyl｝－３－methoxyacrylate　［131860－33－８］

含　　量　本品は，アゾキシストロビン（$C_{22}H_{17}N_3O_5$）95.0%以上を含む。

性　　状　本品は，白～黄赤色の粉末で，においがない。

確認試験　本品を赤外吸収スペクトル測定法中のペースト法により測定するとき，2,230cm^{-1}，1,625cm^{-1}，1,587cm^{-1}，1,201cm^{-1}，1,155cm^{-1}及び840cm^{-1}のそれぞれの付近に吸収帯を認める。

純度試験　⑴　融点　114～119℃

⑵　鉛　Pbとして2.0μg／ｇ以下

本品2.0ｇを量り，白金製，石英製若しくは磁製のるつぼ又は石英製のビーカーに入れる。硫酸（１→４）を加えて試料全体を潤した後，ホットプレート上で，徐々に温度を上げながら硫酸の白煙が発生しなくなるまで加熱する。必要があれば硫酸（１→４）を更に加え，試料がほとんど炭化するまで加熱する。容器にふたをして電気炉に入れ，徐々に温度を上げて500～600℃で灰化するまで強熱する。残留物に塩酸（１→４）10mlを入れ，水浴上で蒸発乾固する。その残留物に少量の硝酸（１→100）を加え，加温して溶かし，冷後，更に硝酸（１→100）を加えて正確に10mlとし，検液とする。別に，鉛標準原液１mlを正確に量り，水を加えて正確に100mlとする。この液４mlを正確に量り，硝酸（１→100）を加えて正確に10mlとし，比較液とする。検液及び比較液につき，鉛試験法第１法により試験を行う。

水　　分　0.50%以下（2.0ｇ，直接滴定）

定 量 法　本品及び定量用アゾキシストロビン約0.05ｇずつを精密に量り，それぞれをアセトニトリルに溶かし，正確に100mlとし，検液及び標準液とする。検液及び標準液をそれぞれ10μlずつ量り，次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行う。

操作条件

検出器　紫外吸光光度計（測定波長　260nm）

カラム充てん剤　５μmの液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲル

カラム管　内径4.6mm，長さ15cmのステンレス管

カラム温度　40℃

移動相　水／アセトニトリル混液（11：９）

流量　アゾキシストロビンの保持時間が約15分になるように調整する。

検液及び標準液のアゾキシストロビンのピーク面積A_T及びA_Sを測定し，次式により含量を求める。

アゾキシストロビン（$C_{22}H_{17}N_3O_5$）の含量

$$=\frac{\text{定量用アゾキシストロビンの採取量（ｇ）}}{\text{試料の採取量（ｇ）}}\times\frac{A_T}{A_S}\times100\ (\%)$$

第２のＦのアセトンの目の次に次のよう目を加える。

アゾキシストロビン

Azoxystrobin

アゾキシストロビンは，かんきつ類（みかんを除く。）以外の食品に使用してはならない。

アゾキシストロビンは，アゾキシストロビンとして，かんきつ類（みかんを除く。）１kgにつき0.010ｇを超えて残存しないように使用しなければならない。

第３のＡに次のよう款を加える。

８　紙（板紙を含む。以下この款において同じ。）製の器具又は容器包装であつて，紙中の水分又は油分が著しく増加する用途又は長時間の加熱を伴う用途に使用されるものには，古紙を原材料として用いてはならない。ただし，紙中の有害な物質が溶出又は浸出して食品に混和するおそれのないように加工されている場合にあつては，この限りでない。

告　示　等

国家試験

ＣＢＴによる平成24年度ＩＴパスポート試験合格者

ＣＢＴによる平成24年度ＩＴパスポート試験（１月実施分）の合格者を平成25年２月15日に決定したので受験番号を次のとおり公示する。

平成25年３月12日　　経済産業大臣　茂木　敏充